

# 【資料7】第7期加賀市障がい福祉計画等策定のためのアンケート調査について

## 1 趣旨

本市の障がい者施策の基本的な理念や方向性等を示す、第7期加賀市障がい者計画・障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画策定に当たり、障がいのある人（子ども）の生活実態と意向を明らかにし、当該計画に反映させるため、本市の障がい者手帳所持者及び精神通院医療（自立支援医療）給付者に対して、アンケート調査を実施する。

## 2 調査方法

### (1) 調査対象の選定

18歳未満の手帳所持者は、人数が少ないため全員対象とする。18歳以上については、身体・知的・精神の各障がい者手帳所持者及び精神通院医療（自立支援医療）給付者の中から、圏域別・障がい別に無作為抽出した500人の者を対象とする。なお、標本サイズ500人は、第6期計画策定時に実施したアンケート調査の回収率60.9%を参考に、統計学上の見地から標本サイズを決定する一般的に使用される算式により算出したものである。（今回は手帳所持者以外の当事者を抽出するため精神通院医療（自立支援医療）給付者を含める）

### (2) 調査方法

郵送による配布及び返信用封筒による無記名回答

### (3) 調査期間

令和5年8月上旬頃から9月下旬頃まで

## 3 調査票の構成等

### 《調査項目》

- 調査項目は、障がい種別に関わらず、共通の項目で構成することを基本とし、特定の条件を満たす場合の項目を組み合わせる。
- サービスの利用状況や今後の利用意向等の項目と調査対象者の年齢、介助を受けている場合の介助者の年齢や健康状態に関する項目及び18歳未満の保護者向けの項目を設定し、これらの項目を組み合わせることで、障がい福祉計画に掲げるサービスの見込み量等に反映させる。

### 《障がい事由による配慮》

- 調査票の全ての漢字及びカタカナにルビを付ける。
- 必要に応じて、介護福祉課職員が個別に聴き取りを行うことが可能な旨注意書きに記載する。